

同時発表：青森県、青森市

令和 7 年 10 月 3 日
港湾局産業港湾課**第 25 回北東アジア港湾シンポジウムを青森県青森市で開催します
～日中韓の港湾関係者が最新の情報と経験を交換～**

北東アジア港湾シンポジウムは、日本、中国、韓国三カ国が持ち回りで毎年開催している北東アジア港湾局長会議にあわせ、三カ国の港湾関係者が港湾に関する最新の情報と経験を交換し、相互の友好関係を深めることを目的に開催しているものです。

日本での開催は、大分（平成 12 年）、新潟（平成 15 年）、宮崎（平成 18 年）、和歌山（平成 21 年）、札幌（平成 24 年）、神戸（平成 27 年）、静岡（平成 30 年）での開催に続き 8 回目となります。

今回は、三カ国の港湾関係者が一堂に会し、「クルーズを核とした地域振興」ならびに「日中韓における気候変動対策」に焦点を当て、日中韓三カ国の現状を共有するとともに、将来の方向性を探ることとしています。

記

1. 日 時：令和 7 年 11 月 20 日（木）13:30～17:30

2. 会 場：ホテル青森 3 階 宴会場・会議場「孔雀の間」（東南）
青森県青森市堤町 1 丁目 1-23 TEL 017-775-4141

※開催地である青森市の青森港は 2025 年に開港 400 年を迎えます。

3. 主 催：北東アジア港湾シンポジウム実行委員会、国土交通省

4. 参加費：シンポジウムは無料（要事前申し込み、定員になり次第締め切り）

5. 会場規模：約 240 名

6. プログラム

13:30 開会

13:50 第 1 部「クルーズを核とした地域振興」

15:40 第 2 部「日中韓における気候変動対策」

17:05 特別講演「青森港の今後の展望（仮）」

（講師：新屋 孝文 青森県県土整備部長）

（参考）18:00 レセプション

7. 添付資料：第 25 回北東アジア港湾シンポジウム 案内

8. 取 材：シンポジウムはフルオープンで行います。なお、報道関係者には、プレス席を用意いたします。当日は、直接会場受付までお越しください。

【問い合わせ先】

港湾局産業港湾課国際企画室 藤原、露口

（代表）03-5253-8111（内線46462, 46466）、（直通）03-5253-8679

The 25th Northeast Asia Ports Symposium

第 25 回北東アジア港湾シンポジウム、青森で開催！

令和 7 年 11 月 20 日(木)13:30～17:30



(クルーズ船が寄港している青森港)

日本、中国、韓国の港湾関係者が一堂に会し、“クルーズを核とした地域振興”と、“気候変動対策”をテーマに最新動向を共有し、各国の港湾が果たすべき姿と連携の可能性を探ります。

13:30 開会(12:00受付開始)

第 1 部 クルーズを核とした地域振興

日本: 山本 三夫 みなと総研クルーズ総合研究所 所長
中国・韓国: 未定

第 2 部 日中韓における気候変動対策

日本: 千田 優 国土技術政策総合研究所 主任研究官
中国・韓国: 未定

○特別講演「青森港の今後の展望(仮)」

講師: 新屋 孝文 青森県県土整備部長

(参考)18:00 レセプション

○会 場 ホテル青森 3 階 宴会場・会議場「孔雀の間」(東南)

青森県青森市堤町 1 丁目 1-23 TEL 017-775-4141

○参加費 シンポジウムは無料(要事前申し込み・定員になり次第締め切り)

○主 催 北東アジア港湾シンポジウム実行委員会、国土交通省

問合せ 国土交通省港湾局 産業港湾課 国際企画室

TEL 03(5253)8679

第25回北東アジア港湾シンポジウム 参加申込

以下の QR コード、または URL リンクより参加申込フォームにアクセスしていただき、必要な情報を入力の上、申込いただきますようお願い致します。

シンポジウム・レセプションともに、参加には事前申込が必要です。

なお、定員に達した場合は、その時点で申込受付を終了させていただきます。

シンポジウムは参加費無料です。

レセプションは会場の都合上、先着 40 名程度とさせていただきます、参加費 5,000 円を当日申し受けます。

【参加申込フォーム: QR コード】



【参加申込: URL】

[こちらをクリックし、アクセスしてください。](#)

★申し込み締め切り: 10月24日(金)まで★

お問い合わせ

国土交通省港湾局産業港湾課国際企画室

TEL 03-5253-8679